

# 全自者協ニュース

JAAS (Japanese Association of Autism Support)

- ・全自者協ニュース／第57号／2021年（令和3年）3月
- ・発行所＝全日本自閉症支援者協会・事務局 ☎ 072-662-8133
- ・発行人＝松上利男・編集人＝五十嵐猛・URL <http://zenjisyakyo.com>

## 強度行動障害への医療と福祉の連携について

一般社団法人日本自閉症協会 市川 宏 伸

私自身は40年ほど前に児童精神科医となり、世田谷にあった梅ヶ丘病院に勤務した。自閉症児の病院としては全国最大規模であり、自閉症児施設（医療型・病棟）を40床有していた。当時は、幼児が多かったため、行動の激しい自閉症児を受け入れてくれる幼稚園・保育園はほとんどなく、自閉症児病棟に入るために6ヶ月待ちであった。その後出生数が減少し、多くの幼稚園・保育園が障害ある幼児も受け入れるようになり、平成12年には就学前の病棟は閉鎖になり、学童病棟だけになったが、学童病棟は入院希望者が激増した。

私が奉職したころ、梅ヶ丘病院には約170名ほどの入院者がいたが、70名ほどは20才を超えている成人であった。成人になっても転院する精神科病院は用意されておらず、成人入所施設も「病院にいるような大変な人は受け入れられない」という姿勢であった。毎年、「今年こそ〘過年児〙を減らそう」という号令が院長から出されても、保護者の多くは「入院する際には、『完全に治ったら退院させる』と当時の担当医は約束した」と語り、退院を拒否していた。入院後30年以上経過している入院者もあり、入院時のことを知る医療者はいなかった。9病棟あるうち、2つは知的障害の重い思春期病棟であったが、実際には3分の1ほどは成人であった。天井には多くの飯粒がこびりついていて、強度行動障害児者が在棟しており、食事を拒否するため、床に押さえつけて無理に口に食事を入れていた。鼻と口を押えて飲み込む様に促すが、手を離せば天井に飯粒が飛んでいくのであった。点滴の管は引きちぎられ、経管栄養の管も食いちられ、生きていくにはやむを得なかった。異食行動も激しく、かなり厚い木の板や柱も食いちぎられていた。

その後、知的障害児入所施設の医師を務めたが、

そこにいる入所者の多くは、診断がされてなくとも80%近くは自閉症があり、それ以外は結節性硬化症、脳・髄膜炎後遺症、重度のダウン症、てんかんなど器質障害であり、知的障害だけで入所している利用者は皆無に近かった。入所施設でも、児者転換は進んでおらず、一つの生活棟は30代、40代の強度行動障害者が中心で、そこでは男性スタッフによる力の支配が行われていた。医療は医務科として独立しており、「医務科には介入して欲しくない」という風潮もあった。準夜帯に抗てんかん薬を捨てていたスタッフは、園長、副園長から厳重に注意してもらった。医療に不信感を持つスタッフがいた背景には、「医療が福祉に良質な医療を提供して来なかったことにある」と考えて、〘福祉における医療〙という講習会を5回行った。勤務時間外であったが、休みのスタッフも参加し、医療への理解が徐々に深まった。

強度行動障害については、福祉ではスタッフを対象とした研修が行われており、そういうスタッフを対象に加算も行われるようになってきている。医療では長らく強度行動障害に興味を持つ医師が少なかったが、この5～6年学会などでもこの分野の分科会は満員の盛況になっている。「強度行動障害児者にとっては、福祉と医療の連携が必要」と考えて、最近、強度行動障害医療研究会を立ち上げた。医療関係者だけでなく、福祉や教育の関係者も世話人に参加してもらっている。

政府の検討会などに出席すると、重度心身障害の分野では、福祉と医療が一緒になって国に働きかけを行っているのに、強度行動障害の分野では、福祉と医療の分野は連携を欠いていたのではないかと危惧している。連携の強化が、強度行動障害児者にとって必要と考えている。

ごみの方におすすすめ ▶ 障害者支援施設 ▶ 生活介護 ▶ 共同生活援助 (グループホーム) ▶ 重度訪問介護

# リジョンを活用しましょう!

## ケース1 加齢児の地域移行のための受け皿必要

社会福祉法人大きい空



**4年後の現在**  
現在も数ヶ月単位で大きな自傷や異食はあるものの一定の水準の支援が組み上がり自主的な支援も行なえるように

**決断**

### コンサルテーション導入

新施設長候補の櫻井は2年間の準備期間スタッフと共に積極的に講演会、研修会や県内外の先駆的事业所視察した。ある講演会で中川に出会い、コンサルテーションを依頼

この人なら!

特に行動障害の激しいユニットに対して初年度は1ヶ月に二日間の契約

行動障害の激しい利用者のアセスメントはコンサルタントが行うことから

決して容易な道のりではなかったけど確実に導入効果は現れてきました

そろそろ次のステップの人材養成ですね

## ケース2 公費によるコンサルテーションを活用して

NPO法人 希望

地域で行き場のない障害者を支えるため15年前に設立されたNPO法人希望は東部生活介護と2箇所のGHを運営

10年前から...

**強度行動障害の利用者が増加**

殴られ大げかの職員が出てから退職する支援員が急増!

う〜ん困った!

県の新しい強度行動障害者支援の取組があるそうですよ

薬にもすがる思いで相談

地域支援マネージャーの吉野です

どうぞまた今度も...

これまでも何度か外部の協力を頼んだことがあるが成果はほとんどなかった

しかし吉野は今までは全く違った!

### コンサルテーション導入

入念な見学・調査・聞き取りケース検討会の後、同じメンバーで月1回の定例検討会を合意後

メールで問題行為を報告すると即座に対策の電話

当面のスケジュール案です

リハーサル、実施? 初めての事ばかりだ...

なるほどやってみます!

みなさん熱心で幸先いいですね~

もう一人別の利用者の支援も考えましょうか

先はわからないけど担当支援員は少し自信が持ててきたようだ

より詳しく知りたい方は下記のURLから『強度行動障害支援者養成研修を現場で活かすために:コンサルテーション導入のガイド』をダウンロードしてください!

お問合わせ・資料請求は

## 一般社団法人 全日本自閉症支援者協会 (全自者協)

社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目 6-8 奥野ビル3F  
TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155



<http://zenjisyakyo.com/>

コンサルテーション導入の例



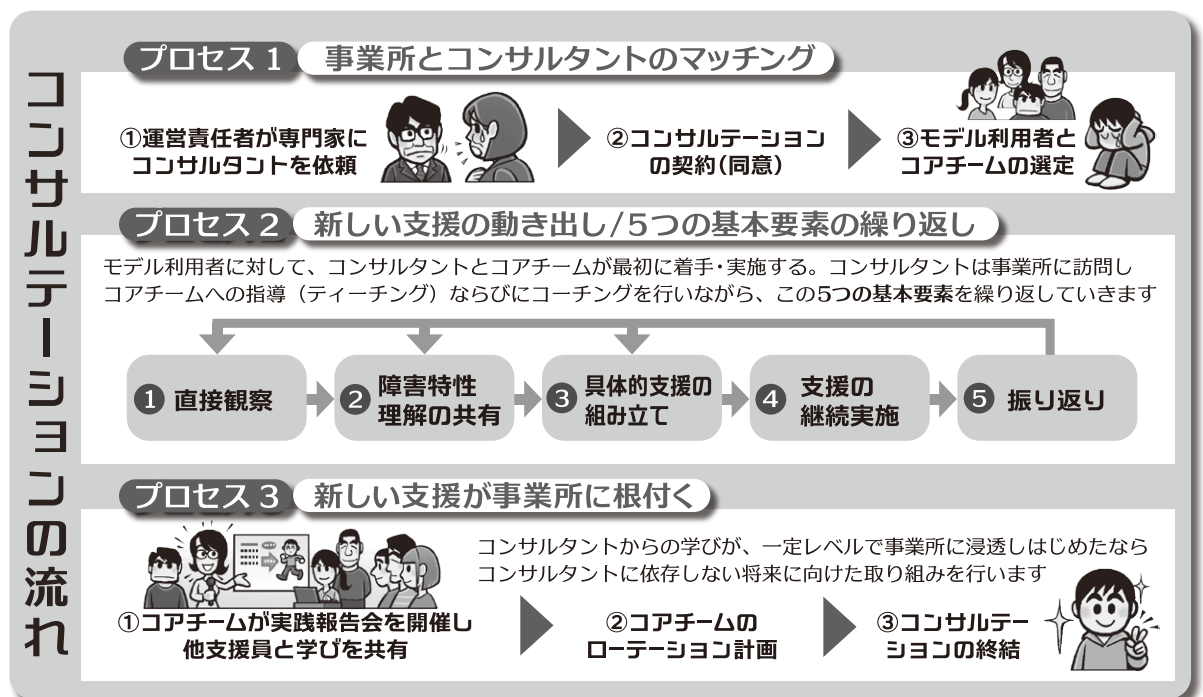
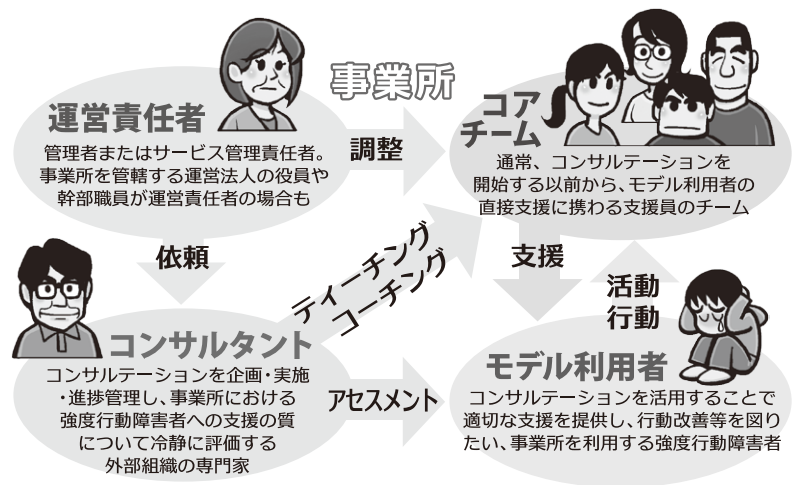
# 強度行動障害者支援現場でお悩みの コンサルテーション

## 強度行動障害者支援のコンサルテーションとは?

2013年度より始まった強度行動障害者支援者養成研修を全国で毎年1.5万人以上がこの研修を受講しています。しかし、残念ながら、多くの障害福祉サービス事業所では、この研修で学んだ支援方法を実践できていません。そのため専門家が事業所に訪れて支援に困っている実際の利用者の支援を通して一緒に問題解決を模索することです。

## 誰がどんなことを?

強度行動障害のあるモデル利用者への実践を通して、適切な支援のあり方をコアチームが継続的に学び続ける。そしてその継続的な学びを運営責任者が依頼したコンサルタントが効果的に企画・実施・フォローします。



★各事業所ならびにコンサルタントの条件次第ですが、「1年間」「月1回ペースの訪問」が最低ラインです。

# 日本自閉症支援者協会

## 会長・副会長による座談会

(令和3年2月9日 ZOOMにて)

コロナ禍で研究会やブロック会議を開けることができずに情報交換が行いにくい状況であるため、会長、副会長による座談会形式でコロナ対策について意見交換会をさせていただくことにしました。

参加者・松上会長、石井副会長、小林副会長、五十嵐広報委員長(司会)

◎施設でのコロナ予防対策について  
五十嵐・まず初めに、施設での予防や現状をお知らせください。

松上・第4派に向けての対策として、感染予防の対策には日常の支援が大切であることに気づいた。クラスターが起きている施設では、利用者が変化にパニックになったりして大変であるが、当法人の利用者は変化にも応じられているし、日常的に手洗いやうがいなどもしてきたことで防ぐことができている。これまでの経験から、日常のケアをしっかりとしていることが大切だと考えており、ノロウイルスやインフルエンザ等の感染対策を経験してきており、その



延長とも捉えている。

小林・利用者側からの自然発生は考えにくいいため、支援者側が利用者にとってさないうちにしっかりと予防することが大切である。そのため、利用者の手洗いやマスク等による予防以上に日常生活の中で支援者側が自重等、

自分たちの危機管理を行うようにしている。日常の変化については、就労移行支援の方々やテレワーク等の在宅でも支援を受けられるプログラムを実施したが、それ以外の方は密を避けるような配慮程度で生活を大きく変える事はなかった。自閉症の施設でかかった事はあまり耳にすることがないが、どうだろうか。

松上・外から持ち込むリスクを回避することは大事であるが、クラスターが起きてしまった施設では行動障害の方の対応に苦慮されていることは聞いている。

小林・自閉症の特性上、突然変える事が負担になるため、普段から予防対策をしていることが大切であるように感じている。再発生している施設もあるようだが。

松上・日常の対策や初期対応が良くないと再発生しやすくなっているように見受けられる。ある種、住環境や支援の質が問われているとも考えられる。

小林・個別に丁寧にしてきた事が結果としてコロナ対策にも生きたように受け止めている。

五十嵐・当施設ではインフルエンザの予防接種を利用者も職員も毎年受けているため、ワクチンなどにも対応していきやすいことが想定できる。皆さんのご意見から日常からの予防対策をしっかりと取り入れることが大切であることを再認識することができました。

◎生活の変化や帰省について  
石井・帰省や余暇の制限があっても大きく崩れる人が居ない要因に職員間との信頼関係が成り立っているこ



とをあらためて感じた。その上で、制限の解除やワクチン等の見直しを本人に説明する事で納得を得られている。感染予防として利用者が帰省できないことについてはZOOMで職員が保護者と面談することで安心を得られてもいる。

松上…事業所が日課の配慮や工夫も行うことで利用者の安定がみられている。利用者の中には帰宅しないことで安定した人も居るようである。

石井…実際に緊急事態宣言時に学校に通わなくなつて落ち着いた利用者もおり、本人に負担になつていたことが露となる機会にもなつた。そのため、これらの課題を日常生活に繋げていくことも必要とされてきている。

小林…週末帰宅が無くなつたことで、休日の職員体制も厚くして個別に外出等の余暇を保障するようにしていることで安定を得ることができている。

五十嵐…ここでも利用者との信頼関係や生活の工夫が出来ている施設では良い結果がでていることがわかりました。

◎職員への影響について  
五十嵐…職員への影響はどのようにできているでしょうか？

松上…グループホームの職員が陽性になつたが、濃厚接触者が男子職員1人だけで陰性であり、2週間勤務できない状況はあつた。しかし、しっかりと感染対策をしていたから広がらずに済んでいる。具体的には、利用者への身体介助もマスク、手袋、30分以内の対応を守っていたら感染対策を取つていことで濃厚接触の扱いにはならなかつた。やはり、しっかりと感染対策を取つていることが大切であり、そんなに恐れなくても良いことを学んだ。

石井…保育所でご家族に濃厚接触が出たが、換気やマスク、食事面等の対策をしっかりとすることで保健所の判断で運営を継続することができた。

松上…現場ではしっかりと感染対策を取つていれば防げるが、一番危ないのは職員同士の食事の場面等だろう。

石井…入所の職員に関しては、特にクラスターが発生することを避けた生活をとつてくれたので労いたい。

予防は職員の自覚や自主的な自粛でなりたつているとも感じている。

五十嵐…自粛によるストレスが根強くある中、当施設では8〜10月にGOTOキャンペーンを使って職員の懇親会場や利用者の宿泊旅行先のキャンプ場を貸し切りで行うことができました。他にも職員のメンタルについて何か工夫されたことはありましたか？

松上…例年よりも新規採用の職員がしんどくなつた人が居た。大阪以外から採用された方は、仕事や生活が新しい中で帰省やコミュニケーション取れない事にストレスがかかっている。そのため、これまで事業所によつてはメンター制度をとつていたが、来年度は法人全体で行うように計画している。

石井…当法人ではチューター制度を導入しており、その効果が出たように思われる。しかし、保育所の職員の中でこの状況下でテレワーク等では済ませられない仕事への矛盾やリスクを感じて進路を変える人も居た。

小林…グループホームなどのひとり仕事の方にしんどい様子が見られた

が、職員が欠けるとさらに勤務が厳しくなるため、係長などの中間管理職が走り回つてよくフォローしてくれた。地方出身者で帰れない職員や職員を心配する家族へのフォローの難しさを感じた。

五十嵐…当法人でも実家に帰りにくいことから、中には退職して帰ることを選択された職員も居ました。皆様のご意見から福祉施設で働く職員は、対利用者へのリスクを考えて自粛への責任感が強い人が多いように感じました。また、メンターやチューター制度などの対策も日常から行うことが大切であることもわかりました。

◎国への要望については？

五十嵐…支援金で隔離用のプレハブをグループホームの敷地に建てた。今の所、実際には使っていないが、いざという時の安心にはつながっている。抜本的に日常から施設やグループホーム等の生活環境や人員配置の改善が必要ではないでしょうか？

松上…神奈川の入所施設でクラスターが発生した。その施設は入所を閉鎖して地域移行をしていたところであった。環境のリスクを避けるた



nobuatsu.kobayashi

め、長期的には施設を小規模化やユニット型にしていく方向にすすめていく必要があると思われる。1人部屋にすることが望ましいが、2人、3人、4人部屋を1人部屋に構造的にできにくい施設もあるようなので、その場合は隔離できるような場所を設ける必要もあるだろう。人材育成も含めて施設やグループホームの住環境を変えたいことを訴えていく必要があると考えている。

小林…レジデンスはユニットに分けているので、クラスターが発生した場合是一部を遮断することで対応が可能であると保健所から判断された。実際に起きることへの不安はあるが、保健所からこのように判断されたことで心強く感じている。生活環境のニーズに合わせて改善をすすめていくことで感染リスクも下がると思われる。

松上…ユニットになっている所は対策がしやすいため、感染リスクも下げられるが、ユニットにしても維持させていくためには職員の体制に加算を付けるなどの制度も必要になる。

石井…中間的な居住形態や個室を保障できる施設形態が進んでいくと良いと考えている。

松上…こうした流れは全自者協で主張していく必要があるが、ユニットにする職員体制が維持できなくなるため、人員配置の見直しも求めていく必要がある。

小林…当法人ではユニット型にすることで職員の配置基準をかなり上回って配置しているが、それでも職員が分散されるために配置が厳しく

なるといった現状がある。

石井…当施設でもコロナ前に全室を個室化したのが、人員配置が間に合わないという矛盾があった。これを機に入所施設の規模や形態に合わせて人員体制も変化させていく必要があるだろう。

松上…たいへんだ、といっているだけではなく、具体的な取り組みを交えて要望していく必要がある。コロナ対策を踏まえて住環境の対策を進める事が、結果として豊かな暮らしにもつながっていくように全自者協としてしっかりと主張を続けていきましよう。

◎連携について

五十嵐…コロナ禍で大会やブロック会議の中止など、なかなか情報のやりとりや連携が行いにくくなっていると思われませんが、いかがでしょうか。

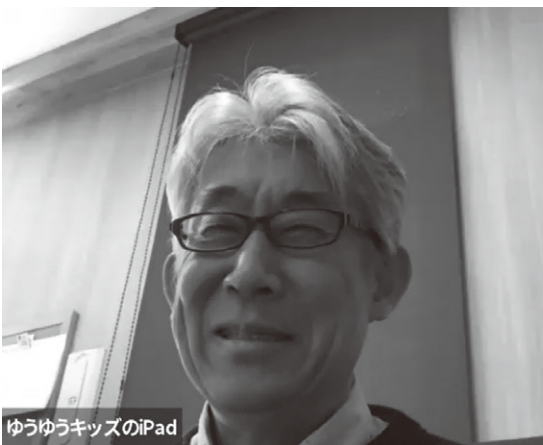
松上…厚労省からは、障害児者に関する医療提供体制の整備についてあがっていますが、実際には進んでいないように思われる。入院調整が進んでいる自治体はあるでしょうか。コロナに限らず、医療との連携については行動障害のある方が受け入れてもらえないといった課題がある。強度行動障

害医療研究会が設立されているため、これから連携をすすめていくことも重要であると考えている。

石井…理事会もZOOMを活用することで開催頻度に増やして情報交換を行えると良いのではないだろうか。

松上…滋賀の研究大会もWEB上で開催することを検討している。コンサルテーションにも有効である。

五十嵐…今後、支部活動や広報活動等もWEB上で情報交換をすすめていくことを検討していきたいと思えます。いろいろとご意見いただき、ありがとうございます。



ゆうゆうキッズのiPad

## 発達障害支援 スーパードバイザー 養成研修・『経過報告』

発達障害支援

スーパードバイザー養成研修

特定事務局 北川 裕

前号でもご報告した通り、2020年度のスーパードバイザー養成研修も、他の多くの研修同様、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、会場に集合しての研修については実施しないこととなりました。

研修の開催だけを考えれば、一堂に会する集合研修は効率も良く、臨場感もあって希望は多いところですが、受講者も主催者も施設に勤めている方が大半ですので、「万一ウイルスを施設に持ち帰ってしまったら」と考えると、やはり選択肢から外さざるを得ません。2020年度新規プログラムの協会研究大会でのマスターコース向け事例発表も、研究大会の中止に伴い見送りましたが、大会中止の判断も同様の理由ではなかったかと思えます。

一方、コロナ下でも実施可能な形態としてインターネットを活用したいわゆるウェブ研修での実施となり、

株式会社リーオンミーとの提携で準備を進めました。

具体的には、ベーシックコースの講義8講座のみeラーニング形式での実施となりました。講師の先生方は皆お忙しく、撮影の方法やスケジュールの調整は少々難航しましたが、逆に先生の方から撮影の方法や内容の提案をいただいたりと、特に大学で教鞭をとられている先生方は、すでにウェブ講義に慣れておられる様子でした。

何とかギリギリ年度内の実施にこぎつけられましたが、時期も時期で、宣伝も不十分でしたので、受講者数は少なめでした。2021年度の追加募集に期待するところです。

講義内容に関しては、講師の先生方から期待通りのハイレベルなものを提供いただけました。しかも、eラーニング形式ですので、1カ月間、いつでもどこでも受講できるメリットもあります。集合研修の良さは認めるものの、講義内容の理解という点で見るとeラーニング形式の方が優れているようにも思えました。

今回の講義は、今後リーオンミー社のスペシャラーニングのコンテンツとなり、コース受講以外の方も視聴できるようにになります。既

に施設内研修での使用希望の声もいただいております。協会加盟施設の方々には期間限定無料視聴のサービスもしていただけるそうです。ぜひ、ご活用いただければと思います。(一般視聴開始の時期は、協会HPでもお知らせします。)

今後の予定として、ベーシックコースに関しては2020年・2021年度をひとくくりにして、eラーニングでの講義受講と実務研修を行うように付けてなっています。現実的に2021年度の後半にならないと実務研修の実施は難しいだろうという予測に基づいて、実務研修の実施が可能になる時期を待つという計画です。施設で暮らしている自閉症の利用者に対応すること、現場支援をしながらOJTを受ける経験を実務研修の重要なプログラムとしており、欠くことも非接触でもできないので、致し方ないところではあります。

アドバンスコースに関しても、演習を重要なプログラムとしていることから2020年度は実施を見送りましたが、今後は講義部分を分けて実施したり、演習をオンラインで行うことも検討していく予定です。しかしながら、オンラインでのやり取りの中で、相手の様子の変化から

心中を洞察するといったことは難しいと思われれます。スーパードバイジョンに必須なそうした技能を前提にした演習の方法に関しては、まだまだ検討が必要な段階です。

マスターコースの事例発表会も実施の方向で考えています。協会研究大会の開催方法によって開催の場や方法を検討して行きたいと思っています。

雑駁な経過と予定の報告でしたが、2021年度も新型コロナウイルスの感染状況、社会的なコンセンサスを鑑みながら、方法や時期を検討し、変更していかなざるを得ないと思います。また、ウェブ研修に関係した機材等の開発や方法の工夫も進んでいくと思いますので、取り入れて拡充できればと考えています。



## 2020－2021年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修 募集要綱(改定)

昨今、強度行動障害支援や発達障害地域支援等、発達障害児者への支援の場におけるスーパーバイザーの存在の重要性は高まってきています。ただ、発達障害支援もスーパービジョンも、知識の獲得だけで実践力が向上することはなく、研修の方法さえ確立されていない状況にあります

本協会には発達障害支援に長く携わり、支援とスーパービジョンの実践を積み重ねてきた施設が多く加盟しています。本研修はそうした実践から得られたノウハウを元に構成されており、発達障害支援とスーパービジョンを学ぶ上で、他に類のない研修となっています。

年度当初にお知らせしましたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止上、実施可能なコース・プログラムのみの開催としました。いくつかのプログラムを企画しましたが、第二波、第三波と推移する中、最終的にオンラインで実施可能なベーシックコースの講義のみの実施となりました。年度末の忙しい時期の開催となりますが、受講しやすい形式ですので、奮って受講ください。

### 【目的】

自閉スペクトラム症をはじめとする発達障害児者への理解不足や間違った支援の結果、二次障害が生じることも少なくありません。その一因として、日本の福祉や教育の現場では適切なスーパービジョンが不足していることが挙げられています。本研修では、発達障害児・者への支援を行う発達障害者支援センター、自閉症関係施設職員及び発達障害児・者の医療、保健、福祉、教育、労働の各分野の実務に携り、一定程度の実務経験を有する方を対象に、第一人者による講義と全日本自閉症支援者協会加盟施設での実務研修、事例検討会等を通して、福祉施設はもとより関係機関・団体及び地域の核となるスーパーバイザーを養成します。

### 【主催】

全日本自閉症支援者協会

### 【後援団体】

厚生労働省、文部科学省、日本自閉症協会、日本発達障害ネットワーク、日本自閉症スペクトラム学会、発達障害者支援センター全国連絡協議会、日本知的障害者福祉協会（依頼中）

### 【事務局】

発達障害支援スーパーバイザー養成研修特定事務局(社会福祉法人嬉泉内)

### 【研修概要】

発達障害支援スーパーバイザー養成研修は、3コース、1認定審査で構成されています。

※2020年度は、ベーシックコースの講義のみ実施します。

#### (1) ベーシックコース

##### 対象

##### ○ 要件 (いずれか)

- ・知的・発達障害支援施設、学校・医療機関等での直接支援経験が3～5年程度の方

・発達障害児者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携り、3年以上の実務経験を有する方

#### ○ 受講動機の適性

- ・発達障害児者への支援をきちんと整理して学び、積み重ねるべき実践内容を明確にしたい方
- ・相談支援等の実務経験者で、発達障害児者に直接接する機会を求めている方
- ・所属施設等での人材育成や他機関との連携等において、発達障害児者への支援についてのアドバイスやスーパービジョン、コンサルテーション等に難しさを感じている方

#### 形式

座学+実務研修(全自者協加盟施設での実習) ※いずれもレポートあり

※2020年度は座学のみの実施とします。実務研修は2021年度以降に実施する予定です。

※今年度で募集定員に達した場合、2021年度の座学の新規募集は行わない予定です。

#### 内容

##### ○ 座学

自閉スペクトラム症を中心とした発達障害児者への支援の基本的な知識・理念・技術

※インターネットオンラインでのeラーニング形式で実施します。

※受講レポートがあります。レポート提出をもって座学の修了となります。

※受講申し込み者以外の方、複数での視聴は厳禁でお願いします。

#### 座学(eラーニング)カリキュラム

	内 容	講 師	時間
A	『発達障害支援の基礎①』 ～医療とアセスメント～	日本自閉症協会 市川 宏伸	90分
	『発達障害支援の基礎②』 ～受容的交流～	全日本自閉症支援者協会 石井 啓	60分
	『発達障害支援の基礎③』 ～応用行動分析～	鳥取大学 井上 雅彦	90分
	『発達障害支援の基礎④』 ～TEACCH～	川崎医療福祉大学 諏訪 利明	90分
B	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義①』 当事者の立場から	NPO法人DDAC 広野 ゆい	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義②』 家族の立場から	日本自閉症協会 今井 忠	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義③』 施設支援の立場から	全日本自閉症支援者協会 松上 利男	60分
	『発達障害支援スーパーバイザー養成の意義④』 発達障害者支援センターの立場から	全日本自閉症支援者協会 五十嵐 猛	60分

#### 受講期間

2021年3月1日から1か月 ※期間内であれば、何度でも繰り返し視聴可能です。

## 会場

視聴環境が整えば、職場でも自宅でもどこでも構いません。

## 受講から修了までの流れ

- ① 受講申し込み
- ② 申込書の内容確認後、受講料の振込案内
- ③ 受講料振込確認で受付完了(通知)
- ④ 配信元 Lean on Me 社より、アクセスアカウント送付
- ⑤ Lean on Me 社により視聴状態の確認
- ⑥ 配信・受講 (期間内であればどの講義も何度でも視聴できます)
- ⑦ 事務局にレポート提出 座学修了(通知) 実務研修の案内

## <受講推奨環境>

### ○パソコン(PC)

OS:Mac OS・Windows7, 8, 10 推奨ブラウザ:Google Chrome メモリ 2 GB 以上 (64bit OS)

解像度:1280 x 720 pixel 以上 インターネット接続:ブロードバンド接続を推奨

### ○モバイル端末

端末:iPhone/iPad OS;iOS 12 以降 推奨ブラウザ:Google Chrome

Android OS;Android TM6 以降 推奨ブラウザ:Google Chrome

- その他 いずれのコースも音声付きです。学習するには イヤホンやスピーカーなどをご用意ください。  
なるべく明るいところで学習しましょう。

## ○ 実務研修 (5日/1回以上複数回受講可) ※2021年度以降実施予定 今年度は行いません。

臨床実習を主体としたカリキュラムの中で自閉スペクトラム症を中心にした発達障害児者の特性や支援の困難さ  
接し方・関わり方の基本についての実践研修

## 内 容

全自者協加盟施設での臨床実習

## 実施時期

2021年度内の実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染、医療対策の拡充の状況等により決定し  
ます。状況によっては、次年度以降に延期の可能性はあることは予めご了承ください。

## 会 場

初回の実務研修は、原則、受講者の在勤地の属するブロック(北海道・東北、関東、北信越、東海、近畿、中  
国・四国・九州)内の全自者協加盟施設

一般社団法人全日本自閉症支援者協会  
2020-2021年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修

### 実務研修カリキュラム(例)

月曜日				13:00 ~ 受付	14:00 ~17:00 ○オリエンテーション 施設概要説明・見学 実務研修説明 研修計画確認	
火曜日	9:00~ ○オリエンテーション	9:30~ ○臨床実習 活動支援	12:00~ 食事支援	13:00 休憩	14:00~ ○臨床実習 作業支援	17:00~ 振り返り
水曜日	9:00~ ○オリエンテーション	9:30~ ○臨床実習 作業支援	12:00~ 食事支援	13:00 休憩	14:00~ ○アセスメント・支援計画策定研修 支援会議 模擬アセスメント・立案	17:00~ 振り返り
木曜日	7:00~ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活支援	11:00~ 休憩	13:00~ ○臨床実習 余暇支援	15:00~ ○スーパービジョン研修 支援会議 事例検討	懇親会等	
金曜日	9:00~ ○オリエンテーション ○臨床実習 生活・活動支援	12:00~ 生活支援	13:30 まとめ 考課 終了	15:00		

## (2) アドバンスコース ※2020年度は実施いたしません。

### 対象

#### ○ 要件 : SV研修ベーシックコース修了

※ 2018年度までのSV研修ベーシックコース受講者については、集合研修受講・レポート提出、実務研修1回を終えていれば修了と見なします。

#### ○ 受講動機の適性

- ・発達障害支援の実践経験はある程度積み重ね、より広く、より深く、より高く支援力を磨きたい方
- ・所属施設等での人材育成や他機関との連携等において難しさを感じ、発達障害児者への支援についてのアドバイスやスーパービジョン、コンサルテーション等の技能を学び、実践を重ね、後進の指導育成や地域での普及啓発・連携・指導育成に役立てたい方

### 研修形式

演習・座学+事例検討(全自者協ブロック研修会等での事例検討) ※いずれもレポートあり

### 内容

#### ○ 集合研修 (2日/講義・演習2)

スーパービジョンやコンサルテーションを行う上での基礎的な知識や技能

#### ○ 事例検討会 (1回以上、期日、会場は未定)

PCAGIPによる発達障害支援およびスーパービジョン・コンサルテーションの事例検討

- ・スーパービジョンやコンサルテーションの事例検討を主とし、受講者が事例検討会のファシリテーターを務め、スーパービジョンやコンサルテーションの演習とする。
  - ・事例提供はブロック研修会参加者から求める。一般的な事例検討会とは異なり、事前準備はほとんど必要ないので、検討会当日の選出で可。
  - ・支援内容についての事例検討の場合には、受講者自身が事例を提示し、ブロック研修会の参加者と事例検討会を行い、スーパービジョンを受ける。
- ※ 今年度、全自者協・関東ブロック研修会での事例検討会の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染が再拡大している状況を鑑み、実施を見送りました。

### (3) マスターコース

#### 対象

##### ○ 要件

- ・SV研修アドバンスコース修了

※ 平成29年度SV研修資格認定コース受講者については、アドバンスコースの集合研修受講とレポート提出をもって修了と見なします。

##### ○ 受講動機の適性

- ・積み重ねた発達障害支援の技能や知見を人材育成やマネジメント・コンサルテーションに活かしたい方
- ・地域における発達障害支援のリーダーとして貢献したい方

#### 研修形式

- ・発達障害支援とスーパービジョン・コンサルテーションの実績を積む
- ・下記のような場や機会実践発表、研修講師受託など2つ以上の実績を積む
- ・修了については、全自者協理事が適否を考課します

※ 「何が実績になるのか」等、質問・相談は特定事務局で受け付けます

※ 実績や実践力は数量では測りがたいものですが、本来的には利用者やスーパーバイザーの好ましい変化(安定・成長・発達)をもたらせるか否かで測るべきものです。実質的には優れた実践家やスーパーバイザーの評価によるものとします。

#### 内容(例)

- ・研究会や継続的な専門技能研修会等での実績
  - ・国が主催する発達障害関連の研修(発達障害者地域支援推進事業における実地研修等)
  - ・困難事例に対して先進的な取り組みを行っている医療・教育・労働等の機関での実地研修
  - ・福祉・教育・医療等の専門機関で行われる発達障害支援に関する研修会等で講師を務める
  - ・全日本自閉症支援者協会、日本自閉症スペクトラム学会、日本自閉症協会、発達障害者支援センター全国連絡協議会等の研究大会、発達障害関連の学会等で実践発表をする
- ※ 2020年度全自者協研究大会(滋賀)において、実践発表の場を設ける予定でしたが、大会開催延期に伴い実施はなくなりました。2021年度、研究大会実施の際には実践発表の場を設ける予定です。

#### (4) 認定審査

##### 対象

- ・本研修マスターコース修了者

##### 審査要件

- ・上記に示したマスターコースでの実績を満たしていること

##### 審査形式

- ・認定審査委員会による書類審査(実績報告書) 口頭試問

##### 認定形式

- ・全自者協スーパーバイザー養成研修運営委員会の承認を経て認定

#### 【受講資格】

- 発達障害者支援センター及び自閉症関係施設の職員で3年以上の実務経験を有する方
  - 発達障害児・者の医療、保健、福祉、教育、労働の実務に携り、3年以上の実務経験を有する方
- ※ ベーシックコース受講申込時に、所属機関若しくは団体の推薦状をいただきます

#### 【募集人員・募集時期等】

##### <ベーシックコース>

50名/2年 (先着順 今年度で定員に達した場合、2021年度は募集しない予定です)

募集期限:2021年2月中旬 ※定員になり次第締め切ります

※実務研修を2021年度に受講可能であることを原則とします

※集合研修、実務研修とも、レポート課題があります。

##### <アドバンスコース>

30名/年(2021年度予定) ※今年度の募集はありません。

※ベーシックコース修了が必須です。

##### <マスターコース>

定員はありません。2020年も随時受け付けています。

##### <認定審査>

定員はありません。(資格認定:年1回 時期は未定)

#### 【受講費用】

##### <ベーシックコース>

座学(eラーニング):20,000円 実務研修:20,000円/回

※Lean on Me 社スペシャルラーニングアカウントを年度契約されている方は、回線利用料分割引きします。申込時にお知らせください。

※実務研修は実施環境が整い次第、受講手続きを開始し、受講料を徴収いたします。また、別途食費・宿泊代等の実費がかかりますので、予めご了承ください。

##### <アドバンスコース>

集合研修:20,000円 事例検討会:5,000円/回

##### <マスターコース>

無料 ※受講される研修等の費用は各自ご負担ください。

**<認定審査>**

審査料がかかります。(未定)

**【申し込み方法】****<ベーシックコース>**

添付の申込書に必要事項を記入し、メール添付にて事務局にご送付ください。(郵送、ファックスでも受付可能です。)申込書内容確認後、事務局よりご連絡します。

※事務局、配信会社とのやり取りが多くあります。原則、メールでの連絡をお願いします。

※受信アカウント作成の必要上、名前のフリガナはローマ字表記で、必ずご記入ください。

**<マスターコース>**

以下の書類を申し込み先に送付してください。(郵送・FAX・メール添付)

①受講申込書 ※ 確認のため、コピー・データを保管してください。

**【その他】**

平成30年度以前から発達障害支援スーパーバイザー養成研修を受講されている方も、問い合わせは以下でお受けします。

**【問い合わせ・申し込み先】**

全日本自閉症支援者協会 発達障害支援スーパーバイザー養成研修(全自者協・SV研修)

特定事務局 石井 啓 北川 裕(担当)

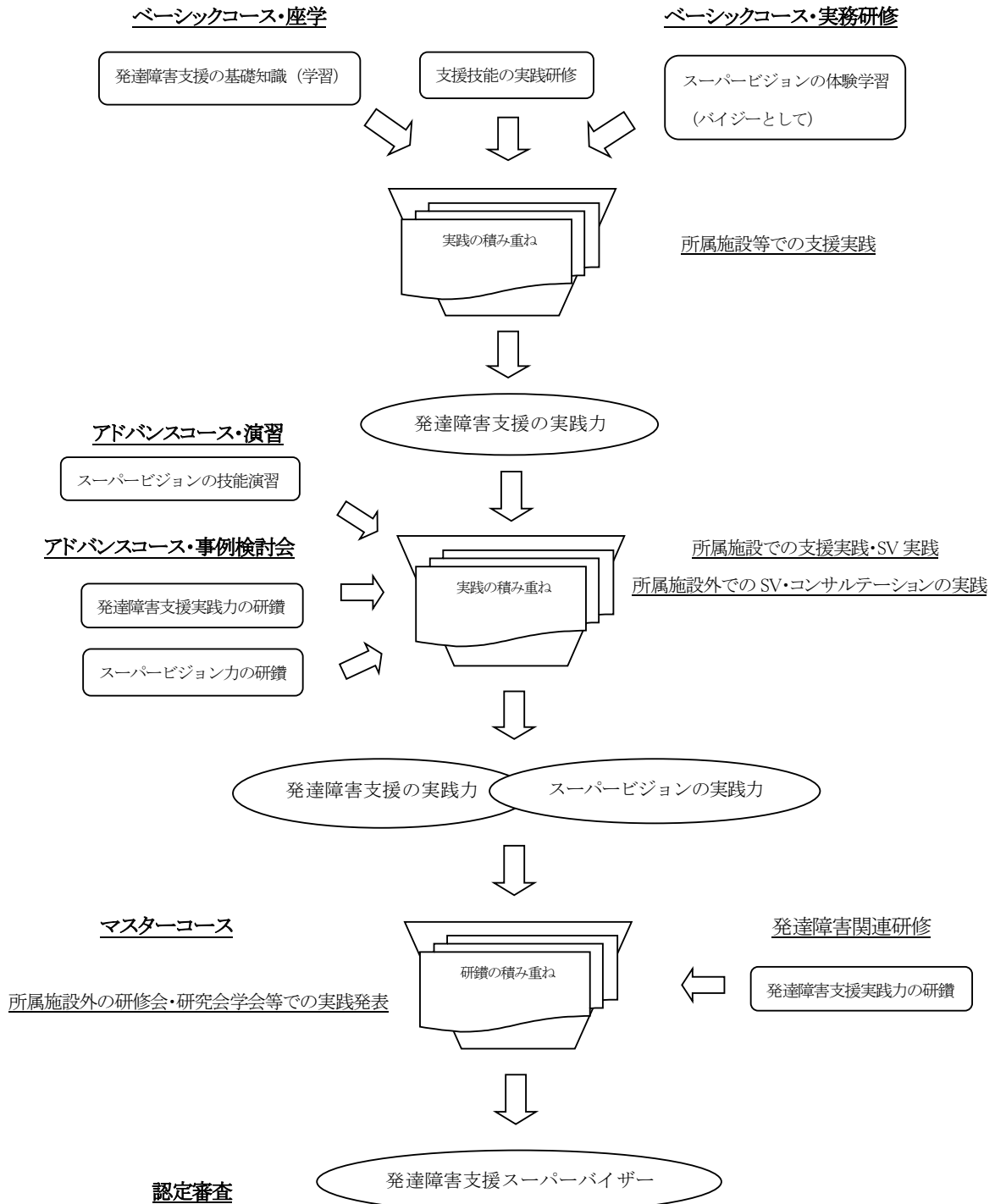
〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-30-9 社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所内

TEL:03-3426-2323 FAX:03-3706-7242

E-mail:sv-kensyuu@kisenfukushi.com

一般社団法人全日本自閉症支援者協会  
2020-2021年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修

発達障害支援スーパーバイザー養成研修  
研修の流れと自己研鑽の関係 (イメージ図)



※ 本研修は、受講者が講義や演習、実務研修で学んだことを、それぞれ所属している支援の現場等に持ち帰り、実践し、研鑽していくことを前提にしています。

一般社団法人全日本自閉症支援者協会  
2020-2021年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修

## 受講申込書（ベーシックコース）

フリガナ(ローマ字)*1		Lean on Me・SL	
		ログインID *2	
名前		男	年 月 日生
		女	( )歳
所属	法人・団体等: 施設・学校等:		
職種	生活介護・就労支援・相談支援・教育・その他( )		
資格			
連絡先 *3	<input type="checkbox"/> 職場	<input type="checkbox"/> 自宅	
	〒	〒	
	TEL: FAX: E-mail:	TEL: FAX: E-mail:	
職歴等			
受講理由 *4	<p>【発達障害支援の基礎知識の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援の技能の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【スーパービジョンの基礎知識の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【スーパービジョンの技能の習得・向上】 具体的に:</p> <p>【その他】 具体的に:</p>		
備考	(受講番号: ) *5		

\*1:受信アカウント発行に必要です。必ず記入してください。

\*2:(株) Lean on Me スペシャルラーニングの年契約をされている方は、必ずログインIDをご記入ください。

\*3:主な連絡先を☑してください。連絡方法は原則できるだけメールでお願いします。

\*4:受講理由は、できるだけ全ての項目についてお答えください。その上で主たるものを○で囲んでください。

\*5:2019年度以前から受講を開始されている方は、備考欄に受講番号を記入してください。

一般社団法人全日本自閉症支援者協会  
2020-2021年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修

## 受講申込書 (マスターコース)

ふりがな		受講番号	男	生 年 月 日
名 前			・ 女	年 月 日生 ( )歳
所 属	法人・団体等: 施設・学校等: 部署・グループ等:			
職 種	生活支援・就労支援・相談支援・教育・その他( )			
資 格				
連 絡 先 *1	<input type="checkbox"/> 職 場		<input type="checkbox"/> 自 宅	
	〒		〒	
	TEL:		TEL:	
	FAX:		FAX:	
	E-mail:		E-mail:	
職歴・資格取得等				
受講理由 *2	<p>【発達障害支援の知識・技能の向上】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援におけるスーパービジョンやコンサルテーションの実践】 具体的に:</p> <p>【発達障害支援あるいはスーパービジョン・コンサルテーションの実績評価】 具体的に:</p> <p>【その他】 具体的に:</p>			
備 考				

\*1:主な連絡先を☑してください。連絡方法はできるだけメールでお願いします。

\*2:受講理由は、できるだけ全ての項目についてお答えください。

一般社団法人全日本自閉症支援者協会  
2020-2021年度 発達障害支援スーパーバイザー養成研修

## 受講推薦状

年 月 日

一般社団法人 全日本自閉症支援者協会

機関名 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_ 印

下記の者について、発達障害支援スーパーバイザー養成研修の受講を推薦します。

氏 名	(生年月日 年 月 日)
現 住 所	〒
所 属	
現所属での 主な経歴	
現在の主な 業務内容	
推薦するコース等	ベーシックコース ・ アドバンスコース ・ マスターコース ・ 資格認定 ( 推薦するコース等を○で囲んでください。)
推 薦 理 由	

毎年  
4/2は

国連の定めた

# 世界自閉症啓発デー



※国連が定める啓発デーには、3月21日の「世界ダウン症の日」もあります。

## 発達障害啓発週間 4月2日～8日

# みんなともだち

みんなたいせつ みんなのこせい



123  
**SESAME STREET**

セサミストリートには、多様なキャラクターがたくさん登場します。オレンジ色の髪をした女の子「ジュリア」は、自閉症の特性があるキャラクターです。

応援メッセージを募集しています

日本各地で啓発イベントが行われます。詳しくは公式サイトへ

世界自閉症啓発デー 日本実行委員会公式サイト  
<http://www.worldautismawarenessday.jp/>

🔍 啓発デー

#世界自閉症啓発デー



**主催**

厚生労働省(発達障害情報・支援センター)  
一般社団法人日本自閉症協会

**共催**

文部科学省 国立特別支援教育総合研究所 全日本自閉症支援者協会 日本自閉症スペクトラム学会  
日本発達障害ネットワーク 発達障害者支援センター全国連絡協議会 全国情緒障害教育研究会  
全国児童発達支援協議会 自閉症児者を家族にもつ医師・歯科医師の会 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

お問い合わせ先

一般社団法人日本自閉症協会

Tel.03-3545-3380 Fax.03-3545-3381

✉ [asj@autism.or.jp](mailto:asj@autism.or.jp)


# ASJ総合保障

## 2021年度「自閉症スペクトラムのための総合保障」

### 新規加入のご案内

ASJ総合保障「自閉症スペクトラムのための総合保障」は「病気やケガで入院した場合」「ケガでの通院」「個人賠償補償」「弁護士費用等補償」をセットにした総合保障となっております。  
自閉症スペクトラムの人たちやご家族が、日ごろの心配や不安を少しでも軽くするための保険です。

【保障内容】詳細はお問い合わせください。パンフレット等をお送りさせていただきます。

<b>ASJ保険</b>	病気やケガ・検査での入院に備えて(入院を開始した2日目から保障します)													
<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>入院保障金</b> 1会計年度30日まで                             <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・付添介護費用</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1日</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">8,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・差額ベッド費用</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1日</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">5,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・入院臨時費用</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1入院</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">5,000円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・入院諸費用</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1日</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1,000円</td> </tr> </table> </li> <li>●<b>死亡弔慰金</b>(受取人は法定相続人となります) 5万円</li> </ul>			・付添介護費用	1日	8,000円	・差額ベッド費用	1日	5,000円	・入院臨時費用	1入院	5,000円	・入院諸費用	1日	1,000円
・付添介護費用	1日	8,000円												
・差額ベッド費用	1日	5,000円												
・入院臨時費用	1入院	5,000円												
・入院諸費用	1日	1,000円												

<b>AIG損保普通傷害保険</b>	ケガをした時、他人への損害賠償、弁護士等を利用した時に備えて																								
<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>本人の傷害(ケガ)の補償</b>(ケガでの入院、通院を初日から補償します)                             <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・入院(180日限度)</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1日</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">3,000円</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・死亡保険金</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">226万円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・手術(1事故あたり1回まで)</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">3万円もしくは1.5万円</td> <td></td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・後遺障害保険金</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">226万円～9.04万円 (障害の程度に応じて)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・通院(90日限度)</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1日</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1,500円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </li> <li>●<b>他人への損害賠償(対人・対物)</b> 1事故あたり 最高3億円まで</li> <li>●<b>弁護士費用等補償</b> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・法律相談費用</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1事故あたり</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">5万円まで(1回1万円まで)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・損害賠償請求費用</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1事故あたり</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">200万円まで</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">・弁護士接見費用(無罪・不起訴のみ)</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1事故あたり</td> <td style="padding: 2px 10px 2px 20px;">1万円まで</td> </tr> </table> </li> </ul>		・入院(180日限度)	1日	3,000円	・死亡保険金	226万円	・手術(1事故あたり1回まで)	3万円もしくは1.5万円		・後遺障害保険金	226万円～9.04万円 (障害の程度に応じて)	・通院(90日限度)	1日	1,500円			・法律相談費用	1事故あたり	5万円まで(1回1万円まで)	・損害賠償請求費用	1事故あたり	200万円まで	・弁護士接見費用(無罪・不起訴のみ)	1事故あたり	1万円まで
・入院(180日限度)	1日	3,000円	・死亡保険金	226万円																					
・手術(1事故あたり1回まで)	3万円もしくは1.5万円		・後遺障害保険金	226万円～9.04万円 (障害の程度に応じて)																					
・通院(90日限度)	1日	1,500円																							
・法律相談費用	1事故あたり	5万円まで(1回1万円まで)																							
・損害賠償請求費用	1事故あたり	200万円まで																							
・弁護士接見費用(無罪・不起訴のみ)	1事故あたり	1万円まで																							

加入プラン(会員種別)	年間掛金計	内訳
◆加入プラン <b>A 正会員</b> 日本自閉症協会正会員(加盟団体)の構成個人会員	15,900円	ASJ保険料 6,100円 AIG損保保険料 9,300円 年会費 500円
◆加入プラン <b>B 自助会員</b> (上記A以外の方は申し込みにて自助会員となります)	17,900円	ASJ保険料 6,100円 AIG損保保険料 9,300円 年会費 2,500円



◆ご加入のみなさんからの声◆

- ・年齢制限もなく手頃な掛金で充実保障で安心です。これからも継続して行って欲しい!
- ・早い対応ありがとうございます。急な入院だったので、給付助かりました。
- ・自閉症等に特化した保険は本当に助かります。このまま使わない事を祈るばかりですが、入院、パニックによる破損等、心配事がつきません。これからもよろしくお願いします。
- ・自閉症協会会員だから掛金も安く加入でき、精神科への入院も保障されるのでありがたいです。

お問い合わせ・お申込み フリーダイヤル 0120-880-819



**一般社団法人 日本自閉症協会 ASJ保険事務局**  
 〒104-0044 東京都中央区明石町6-22 ニッコンビル6F  
 TEL:03-5565-2020 FAX:03-5565-2021 E-Mail: asj-hoken@autism.or.jp  
 営業日: 月～金(土・日・祝日除く) 10:00～16:00  
 \*入院保険金のご請求や届出住所・金融機関等をご変更の場合は、ASJ保険事務局までご連絡下さい。